

預金残高1兆円

規模のメリットを生かす

(fromMONEYKit「ソニーバンクからのメッセージ」2008年2月4日 より)

ソニーバンクサイト(<http://sonybank.net/>)のディスクロージャー・ページをご覧ください。お分かりのように、1月末の預金残高は1兆円を超えました。ここまでご支援いただいたお客さまに心から感謝申し上げます。

ソニーバンクのビジネスモデルでは規模の効果が働きます。ですから、規模拡大は一段と業務の効率性を高める要素でもありました。既にブレークイブンは超えています。ここからは、規模のメリットを生かして、お客さまにより有利な商品・サービスを提供できる余地が拡大します。さまざまなコストを削減できれば、なによりもまず、お客さまにより魅力のある金利や手数料でのサービスが可能となるからです。また、収益基盤の確立によって、新しい投資も可能となります。最近の動きを見ていただいても、一つひとつは目立たないかもしれませんが、着実に改善を進めています。

たとえば、住宅ローンではこの1月から繰り上げ返済手数料を金利タイプにかかわらず無料とさせていただきます。また、ソニー生命保険と銀行代理店契約を結び、お客さまがライフプランナーの方々を通じて商品の説明を受けることが可能となりました。同時に、銀座ソニービルのライフプランニング・スクエア(ソニー生命保険のライフプランニングのショールーム)で当社の住宅ローンのご相談、口座開設のお申し込みをお受けできる体制としました。

一方、決済の分野では利便性を高めるため、2007年12月から新たな仕組み、Web振込み決済を導入しました。これによって、インターネット・ショッピングでのお支払いをソニーバンクの口座から簡単で安全・確実に低コストで行なえると見込んでいます。現在、ご利用可能な加盟店はソニー損害保険ですが、今後拡充していきます。

1兆円は一つの節目です。ただ、この節目を越えたことで選択肢は確実に広がっていると思います。節目を迎えて、単に良いというだけでなく、ソニーバンクを利用してよかったとだけ思っていただけの金融サービスを実現しようとの決意を新たにしました。ここから更にお客さまとのwin-winのスパイラルを一段と推し進めて、新たな高みへと挑戦していきたいと思えます。

ソニー銀行株式会社
代表取締役社長

石井 茂



(ご参考) 開業以来の預金残高と口座数の推移

ソニーバンクは、2008年1月末現在で、預金残高1兆円を達成いたしました。

